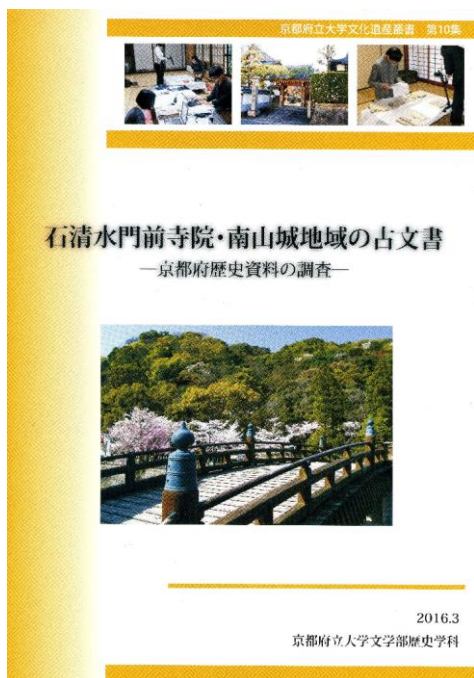
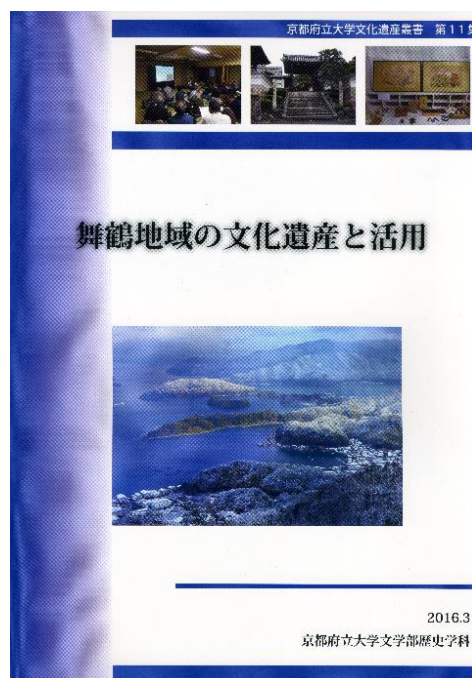


分類 番号	A4	取組 名称	京都歴史資料の調査・活用・公開－舞鶴幼稚園と京田辺市－
研究代表者：	文学部	職・氏名：	准教授・東 昇
研究担当者：	京都府立大学 横内裕人 外部分担者・協力者 松本勇介氏（京田辺市教育委員会）・舞鶴市教育委員会・舞鶴幼稚園		
主な連携機関（所在市町村、機関（部署）名）	舞鶴市教育委員会、舞鶴市立舞鶴幼稚園、京田辺市教育委員会		
【研究活動の要約】			
<p>本研究の目的は、舞鶴市・京田辺市両市の歴史資料（舞鶴幼稚園資料約 1000 点・堂奥・多門院地区の祭礼、京田辺市所蔵資料約 480 点）を調査し、具体的な事業として活用・公開することである。</p> <p>その活用・公開とは、①歴史学科文化遺産叢書 10『石清水門前寺院・南山城地域の古文書』・11『舞鶴地域の文化遺産と活用』2冊を刊行、②京田辺市・京都府立大学歴史資料共同調査報告会を実施。③京田辺市歴史資料整理、市民ボランティア事業、その成果をまとめ報告書原稿（目録・解題・論考）作成を行った。</p>			
【研究活動の成果】			
<p>① 『石清水門前寺院・南山城地域の古文書』は、京都教区八幡組浄土宗青年会と共同で八幡市の寺院に伝来した歴史史料の目録や解題をまとめた。『舞鶴地域の文化遺産と活用』には、府内現存最古の舞鶴幼稚園資料の目録・解題・写真、堂奥・多門院地区の祭礼、和田地区の生活、舞鶴市内全域の街道、堂奥・長浜地区の石造物など、様々な文化遺産の集成が完成した。</p> <p>② 京田辺市・京都府立大学歴史資料共同調査報告会を京田辺市社会福祉センターで開催（10月4日）、昨年度の ACTR の成果（江津地区）を教員 2 名で「近世江津村の検地帳と頼母子講」等報告、「京田辺市の歴史を語る」パネルディスカッションでは、地元の方の報告も交え、参加した市民の方からも様々な質問や意見をいただいた。</p> <p>③ 京田辺市歴史資料整理市民ボランティア約 20 名を募集し、写真資料の講義を行い、大正期の写真雑誌『歴史写真』の整理を 3 回実施した。また薪地区の歴史資料の整理を学生・院生と行い、その成果を目録・解題・論考「小山捨松の京都府巡査試験と教習」としてまとめた。</p>			
【研究成果の還元】			
<ul style="list-style-type: none"> ・ 2015. 10. 4 京田辺市・京都府立大学歴史資料共同調査報告会で報告、京田辺市社会福祉センター・参加者約 80 名。 ・ 2015. 11. 3、12. 4、2016. 1. 8 京田辺市歴史資料整理市民ボランティア活動、京田辺市役所・参加者約 20 人。 ・ 2016. 3. 30 歴史学科文化遺産叢書 10『石清水門前寺院・南山城地域の古文書』・11『舞鶴地域の文化遺産と活用』2冊を刊行（府内各地の図書館で閲覧可能）。 			
【お問い合わせ先】		文学部歴史学科 准教授：東 昇	
Tel: 075-703-5271		E-mail: n-higashi@kpu. ac. jp	

参考 (イメージ図、活動写真等)



『石清水門前寺院・南山城地域の古文書』



『舞鶴地域の文化遺産と活用』



京田辺市・京都府立大学歴史資料共同調査報告会 (2015.10.4)



舞鶴市多門院地区での調査の様子 (2015.7.19)

